

大風 便り 第121号

ブログ発信中 <http://oodakomuseum.shiga-saku.net/>

編集・発行 世界風博物館東近江大風会館 平成28年6月27日発行
〒527-0025 滋賀県東近江市八日市東本町3-5
TEL: 0748-23-0081 FAX: 0748-23-1860
IP: 050-5801-1140
開館時間: 9時～17時 休館日: 毎週水曜日、第4火曜日、祝日の翌日
平成18年度から指定管理者制度により(公財)東近江市地域振興事業団が管理しています。

毎週第3日曜日は「家族ふれあいサンデー」 東近江市民の方は、「ふれあいカード」をお持ちの上、ご家族でお越し下さい

夏休み特別企画 ～どうやって、作ったの!?～ふしぎもの大展示会

開催期間 平成28年7月14日(木)～8月30日(火)

開館時間 午前9時～午後5時まで(入館は午後4時30分まで) 期間中の休館日 毎週水曜日、7月19日、8月12日、8月23日



東近江大風が今年の夏休みに開催する親子で楽しむ展示会は、小さい穴に大きな木製の矢が通っていたり、口径の小さなピンの中に大きな手まりやトランプが入っ



ているものなど、「一体、どうやって作ったの?」「三次元的にあり得ない!」と思ってしまう不思議なものを「ふしぎもの」と名付け、それらの展示を行います。また、東近江市のお隣、愛荘町の伝統工芸品「愛知川びん細工てまり」もピンの中に手まりが入っている不思議なもので、こちらの展示も行います。展示に関してご協力頂くのは、アソビディア(ASP BIDEA)、パズル工房 葉樹林、不可能物体ギャラリー、明治大学杉原厚吉さん、愛荘町立愛知川びんてまりの館で、めったには見られない秘蔵の品が大集合しますので、みなさん楽しみにしてください。また、見るだけでなく、手に取って遊ぶことが出来る展示会を予定しています。期間中には、全8回のワークショップ「ふしぎもの工作教室」も開催します。手を動かして、不思議の秘密を実際に体験してみてください。詳しくは下をご覧くださいね。



ふしぎの秘密を知って、自分で作ってみよう ふしぎもの工作教室(ワークショップ)の開催 参加者募集

ふしぎ立体(紙)

紙を使い、視点から見ると不思議な動きをする立体を作ります。

開催日 7月23日(土)、8月13日(土)
時間 10:30～11:30
参加費 500円



ペットボトルでボルト&ナット

ペットボトルの中に、ボルトとナットを利用した不思議な物体を作ります。

開催日 7月23日(土)、8月13日(土)
時間 13:30～15:00
参加費 1000円



ハイパーカード(紙)

紙を切って折り曲げることで、裏表が分からなくなる不思議なカードを作ります。

開催日 7月24日(日)、8月14日(日)
時間 10:30～11:30
参加費 500円



ふしぎ立体(木+紙)

木と紙を使って、ある視点から見ると不思議な形が見える立体を作ります。

開催日 7月24日(日)、8月14日(日)
時間 13:30～15:00
参加費 1000円



参加申込について

定員 各先着50名、対象 すべて小学校1年生以上(小学4年生以下は保護者同伴)、持ち物 色ペンなど

締め切り 定員になり次第締め切ります。会場 世界風博物館東近江大風会館(東近江市八日市東本町3-5)

申込み方法 7月11日(月)午前8時30分から電話受付 電話0748-23-0081 IP 050-5801-1140

その他 夏休み特別企画「ふしぎもの大展示会」の入館の時は、入館料が必要となります。

～夏休み親子凧作り体験2016～

＝カブトムシの凧作り教室受講者募集！！＝



みなさんこんにちは！いよいよ夏が近づいてきましたね♪
夏といえば…花火にカキ氷にBBQ！ですが、こちら定番カブトムシ！！大凧会館では今年もカブトムシの凧作り教室を開催いたします♪。

約100cmの大きさもあるカブトムシの凧紙にそれぞれ色塗りと骨組みをして仕上げてもらいます。小さいお子さんと自分の背丈と同じくらいの大きさになりますよ。自分だけのカラフルなカブトムシやかっこいいカブトムシを、思い思いに作って揚げてみませんか？

毎年人気の教室です。お申し込みはお早めをお願いします(^V^)



日	時	平成28年8月20日(土) 午前9時00分～正午
場	所	世界凧博物館東近江大凧会館別館
参	加	費：500円(材料代・あげ糸含む)
定	員	：25組の親子
対	象	：4歳以上(小学生以下は保護者同伴)
申	込	方法：7月11日(月) 午前8時30分から電話受付
そ	の	他：教室当日は汚れてもよい服装でお願いいたします。

小泉久夫・英子

＝夫婦で作った創作人形展、7月5日まで開催中！＝



こんにちは！今回ご紹介するのは、東近江市内で活動されている、小泉久夫さん英子さんご夫妻が作られた「夫婦で作った創作人形展」のご紹介です。展示作品は、創作人形をはじめ、多彩な趣味を持っておられる久夫さんが手がけた水墨画、仏画も併せて展示しており、大凧会館の展示



ホールは賑やかな雰囲気になっています。創作人形の顔や体は久夫さんが手がけられ、ポーズや表情が豊かに作られ、着ている着物や服はすべて英子さんが着なくなった服や端切れを再利用して手縫いで手作りされておられるので、一体一体温かみがある作品になっています。作品の中には、

幅3メートル・縦5メートルある水墨画で描かれた太郎坊山を背景に、大凧の綱を引く人々の豊かな表情が表現された躍動感ある大凧揚げをモチーフにした「大凧」と、夏らしいスイカ割りや風車を片手に孫を背負う「子守り」など、夏の暮らしを表現した作品などを15点展示しています。なお、大凧揚げを表現した作品は展示会終了後、東近江大凧会館に寄贈していただきます。

7月5日(火)までですので、ぜひ皆さんお越しくださいませ♪

＝壁面改修工事のお知らせ＝

現在、東近江大凧会館外壁の改修工事を行っておりますが、通常とおり開館しています。

改修工事期間 6月10日(金)から8月5日(金)

期間中、駐車場から玄関までの通路や工事に伴います音などご迷惑をお掛けしますが、お氣をつけてお越しください。

＝2016年7月の予定＝

- 5日(火)まで 夫婦で作った創作人形展開催中
 - 6日(水)から12日(火) 湖東中学校職場体験
 - 14日(木) 夏休み特別企画「ふしぎもの大展示」 8月30日まで
 - 17日(日) 家族ふれあいサンデー
 - 18日(月) 博物館夏まつり ビバシティ彦根にて
 - 23日(土) 東近江地域スタンプラリー 29年1月15日まで
 - 23日(土) ふしぎもの工作教室
 - 24日(日) ふしぎもの工作教室
 - 7月の休館日：7/6・7/13・7/19・7/20・7/27
- 一月一凧は休みます。

＝博物館夏祭り＝

第10回
博物館夏祭り
2016年7月18日(月・祝) 10時から16時
会場：ビバシティ彦根ビシティホール VIVA City
彦根市竹ノ町43-1

活動内容：ミュージアムクエスト、伊吹山と薬草で入浴剤づくり、直弼かるたであそぼう！、近江商人なりきり体験、拓本をとってみよう！、昔のくらしの道具をつかおう！、好きな絵を描こう！、動物のペンダント作り、ロボットのプログラミングを体験しよう！、星旗パネルをつくらう！、動物のペンダント作り、平仮名で書きたてをしてみよう！、夏祭り思い出辞典を作ろう！



ビバシティ彦根に県内外の14の博物館や団体が一堂に会して、それぞれの個性を持つ博物館が、皆様に科学・環境・文化について親しんでいただくために『博物館夏祭り』を7月18日(月・祝)に開催します。

博物館夏祭りは、参加される博物館等の個性あふれるワークショップなどがお楽しみいただけます。東近江大凧会館も参加し、「好きな絵を描こう！！凧作り体験」で、星の凧を作ることができます。(参加費300円)ほかの博物館では、伊吹山と薬草で入浴剤づくり(伊吹山文化資料館)、直弼かるたであそぼう！(彦根城博物館)、ロボットプログラミングを体験しよう！(西堀栄三郎記念探検の殿堂)、動物のペンダント作り(近江富士花緑公園)など・・・いろんな企画がいっぱいです。皆さまどうぞお越しいただき、楽しいひとときをお過ごしください！！参加する12館を回るスタンプラリーを7月1日(金)から8月28日(日)まで行います。2個以上のスタンプでオリジナルバッジをプレゼントします。

＝手話体験講座に参加しました＝



暑くなってきましたね。皆さんいかがお過ごしですか？大凧会館は、滋賀県みんなで省エネ・節電クールライフ2016「クールシェア～エアコン消して涼しいところに集まろう～」の賛同施設です。

つまり！厚～い日は家族揃って大凧会館にお越しただき楽しんでくださいという事です。ご来館お待ちしております。

去る6月7日、14日、21日の3日間大凧会館職員2名(前田・小笠)は2016東近江市手話体験講座を受講しました。日常何気なく「会話」でコミュニケーションをとっていますが「聞こえない」ということは、情報の取得が少なかったり難しかったり不安や孤独を感じる人が多いそうです。そんな時手話を使って意思疎通ができればよいのになあ。と思うのですが、手話で何でも伝えられるようになるのは大変なことです。では、手話が完璧にできなければコミュニケーションが取れないのか？そんなことはありません。一番大切なのは「伝えたい」という気持ち。身振り手振りに表情、筆談や空書・・・考えられる方法を使って伝える事が大切だと教わりました。大凧会館は障害者施設の方のご利用もよくあります。障害の具合や程度により、わからなかったり伝わらないこともあると思いますが、何か一つ大凧会館へ来た記憶や記念、「しるし」を感じてもらえるような対応を心掛けたいと思いました。